

土着天敵を活用した 露地ナス栽培のミナミキイロ アザミウマ防除について

奈良県 中部農林振興事務所 農業振興課 北岡 拓真

管内の農業について



15市町村(6市8町1村)
ナス栽培の個人経営体数 175経営体(2020農林業センサスより)
共計・共販の夏秋ナスの約7割

広陵町での露地ナス栽培におけるミナミキイロアザミウマ防除

地域の状況

- ・ハウスナスで増殖したミナミキイロアザミウマが5月から露地ナスに飛来
- ・ミナミキイロアザミウマの天敵であるヒメハナカメムシは6月から発生
→ミナミキイロアザミウマの初発に間に合わない



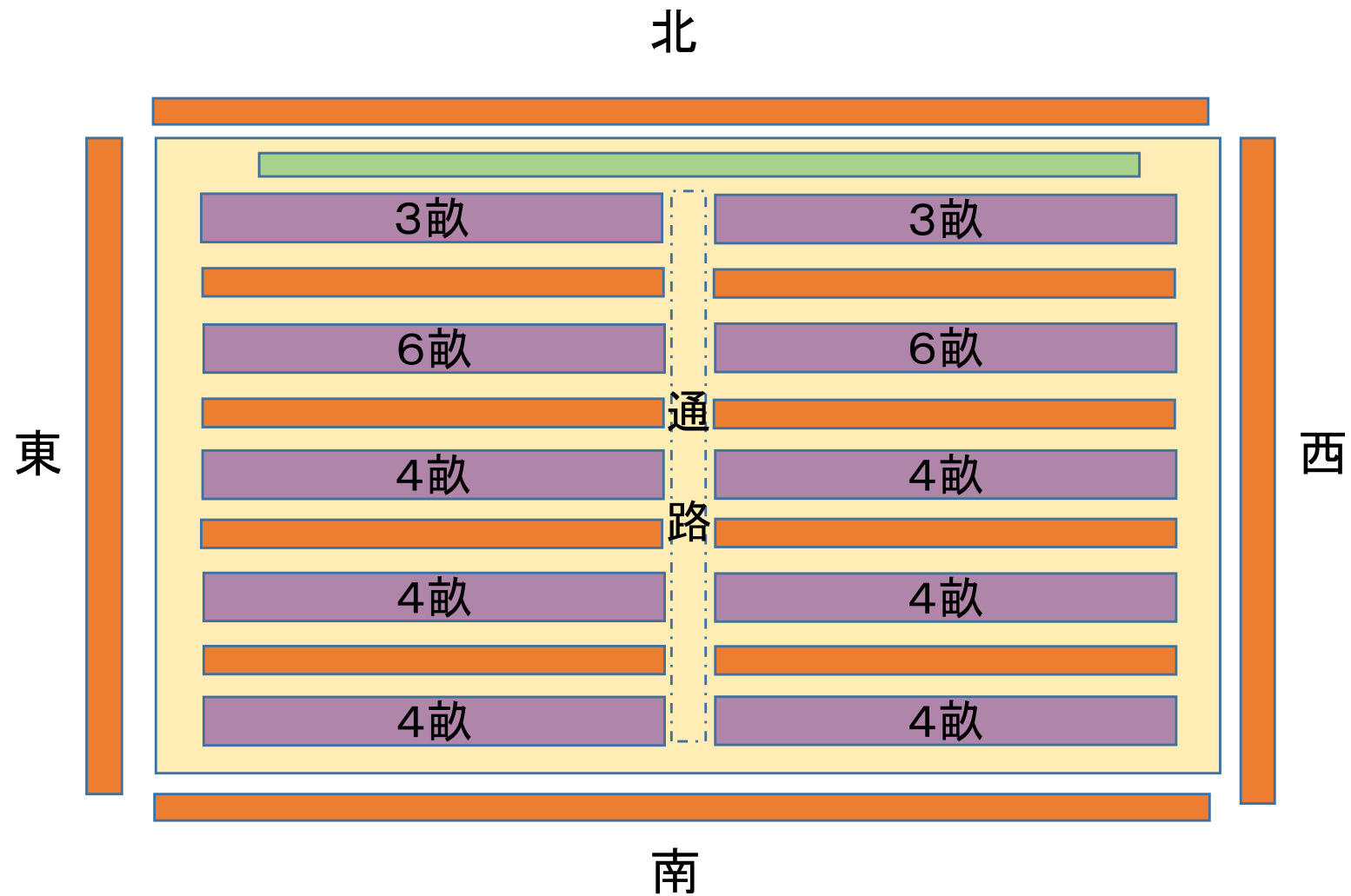
実証圃の設置

「ハウスナスのある産地でのミナミキイロアザミウマの総合防除」

- ・5月のミナミキイロアザミウマは定植時のモベントフロアブル灌注
- ・6月以降は天敵温存できる薬剤選択と天敵温存植物の植栽

調査圃場

● 広陵町百済ナス生産組合員の圃場



面積: 50a 定植時期: 5月上旬

ナス その他野菜
フレンチマリーゴールド

調査圃場

● 広陵町百済ナス生産組合員の圃場



フレンチマリーゴールドの植栽
(ヒメハナカメムシの温存植物)

調査結果(ヒメハナカメムシの個体数の推移)

アルバリン顆粒水溶剤の散布(害虫カメムシ対策)
* ヒメハナカメムシへの影響が大きい

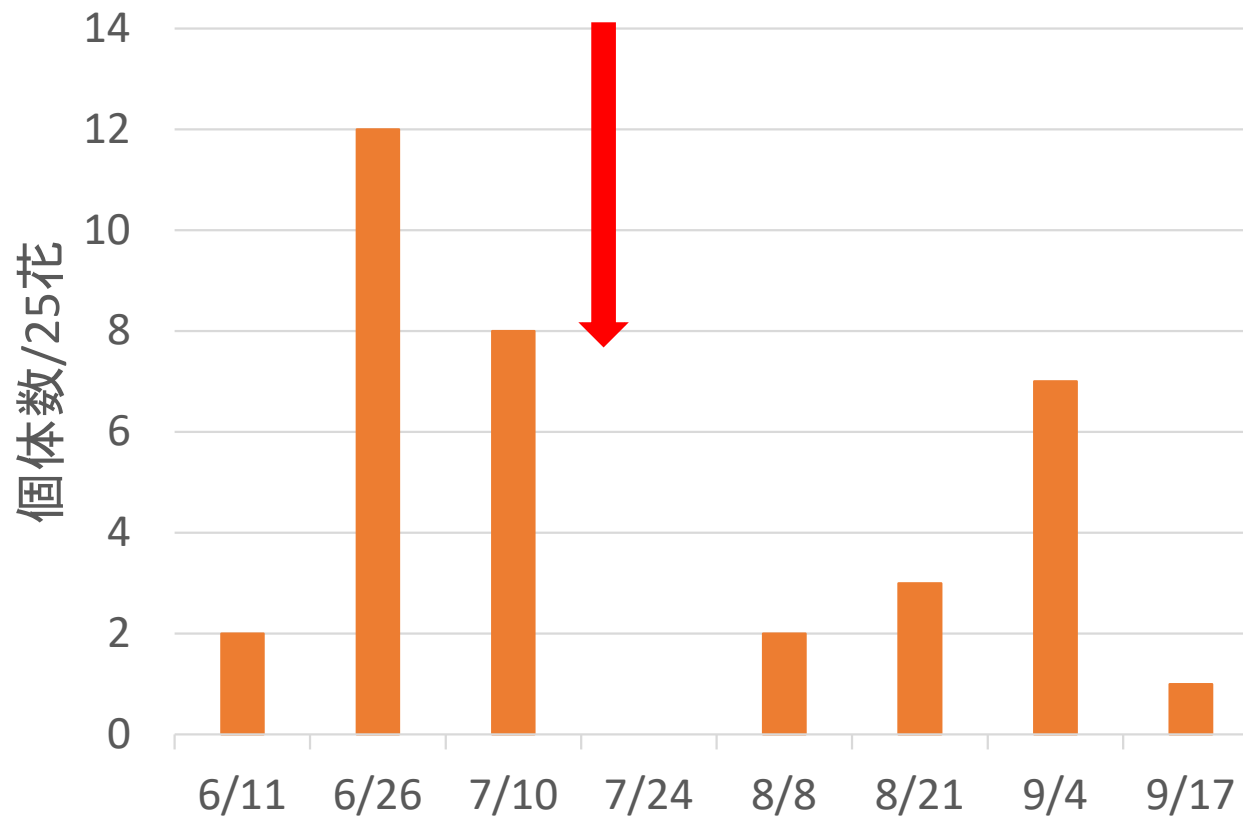
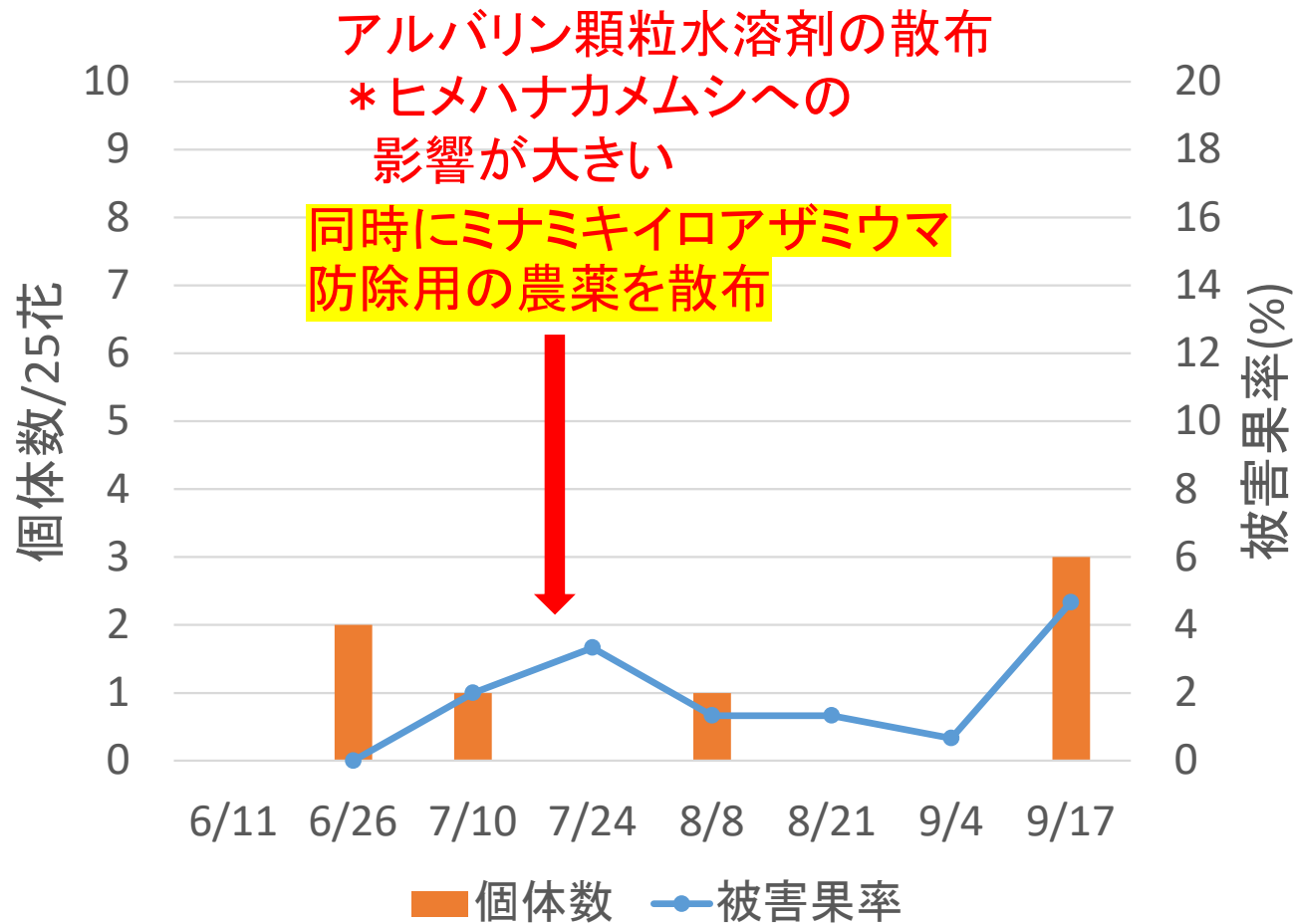


図1. ナス上のヒメハナカメムシの個体数の推移



ナス葉上のヒメハナカメムシ

調査結果(ミナミキイロアザミウマの被害)



ミナミキイロアザミウマによる被害果

図2. ミナミキイロアザミウマの密度と被害果率の推移

調査結果(カスミカメムシの被害)

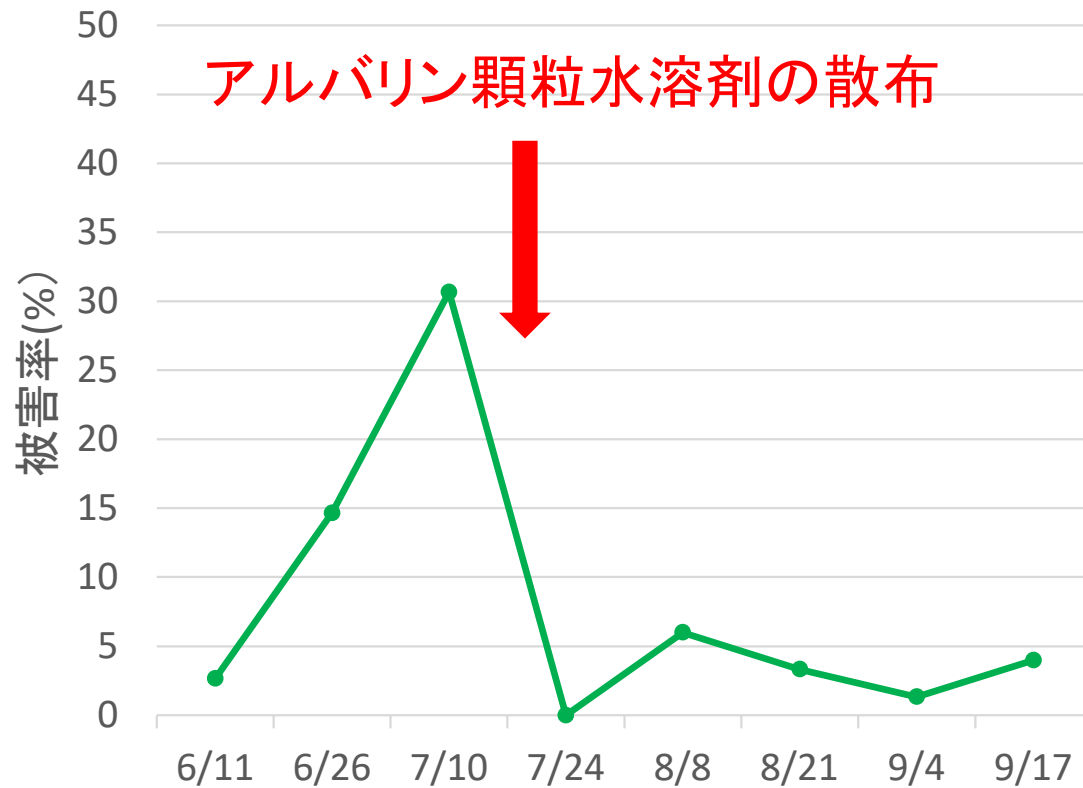
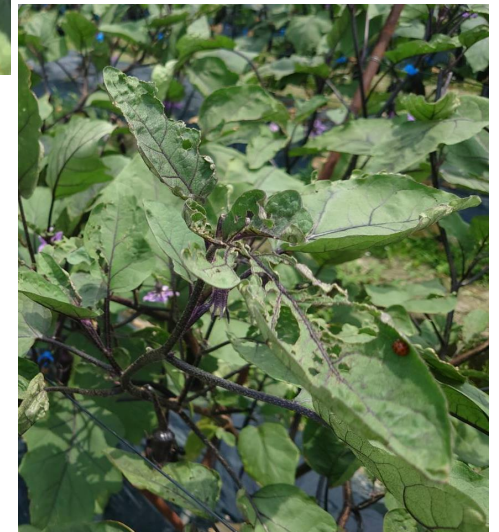


図3. カスミカメムシ類の新芽の被害率の推移



カスミカメムシによる新芽被害

調査結果

- ・選択性殺虫剤の使用とフレンチマリーゴールドの栽植によるヒメハナカメムシの温存でミナミキイロアザミウマを低密度に抑えることができた

- ・カスミカメムシによる被害は、アルバリオン顆粒水溶剤の適期散布により低く抑えることができた

- 同時にミナミキイロアザミウマ防除用殺虫剤の散布により、ミナミキイロアザミウマの増加を抑制することができた



- ・選択性殺虫剤の適期散布により、その他害虫についてもヒメハナカメムシに悪影響がなく抑えることができた

農家さんの感想

広陵町百済ナス生産組合のA氏

慣行防除の頃の農薬散布回数 月に7～8回



今年度の6～9月の農薬散布回数 8回



農薬の散布回数が減った！
天敵にやさしい農薬を選んでよかった！
普及指導員が巡回してくれてよかった！

まとめ

定植時のモメントF灌注処理

+

土着天敵(ヒメハナカメムシ)の活用

↓

ミナミキイロアザミウマの発生を抑制し、被害を最小限におさえられた



ハウスナスがある産地でも、
土着天敵の活用がミナミキイロアザミウマの防除に効果的